



山梨から豊かな未来をきりひらく

**山梨中央銀行**

# 個人投資家さま向け 会社説明会

2026年2月10日(火)

東証プライム : 8360

|                         |           |
|-------------------------|-----------|
| <b>1. キーメッセージ</b>       | <b>3</b>  |
| <b>2. 山梨中央銀行の歴史と概要</b>  | <b>4</b>  |
| <b>3. 山梨県の特徴</b>        | <b>9</b>  |
| <b>4. 長期ビジョンと中期経営計画</b> | <b>18</b> |
| <b>5. 企業価値向上に向けた取組み</b> | <b>22</b> |
| <b>6. 株主還元</b>          | <b>44</b> |
| <b>7. 業績概要</b>          | <b>47</b> |

## 当行の特徴

- 1877年に第十国立銀行として創業、**経営理念は「地域密着と健全経営」**
- 山梨県内における**預金シェアは52.1%、貸出金シェアは51.6%**と高い割合
- 東京へ明治10年に進出以降、中央線沿線に店舗ネットワークを構築

## 経営戦略

- **山梨強靱化戦略**を掲げ、地域企業の成長ビジョンの策定を支援
- 都内企業と県内企業をつなげる**新たなビジネスモデルを構築**
- 富士山・アルプス アライアンスを通じた地域課題解決への取組み

## 株主還元

- 配当性向40%を目安に、中間・期末配当を**増配し、年間118円**
- **株主優待制度を導入**

# 山梨中央銀行の歴史と概要



# 山梨中央銀行の歴史

- 1877年に日本で9番目の国立銀行として創業（渋沢栄一氏も創業に関与）
- 静岡銀行・八十二銀行（現八十二長野銀行）と包括業務提携
- 2027年に創業150周年を迎える



1880

1874年

興益社を設立



わが国最古の預金通帳  
「興産金預り通」

1877年

第十国立銀行  
として創業



1920

1921年

山梨貯蓄銀行  
設立

1960

1941年

第十銀行と有信銀行が合併し山梨中央銀行を創立



1950年に竣工した  
旧本店

2000

2025年

静岡銀行・八十二銀行（現八十二長野銀行）と包括業務提携を締結

2030

2027年

創業150周年

渋沢栄一氏の自筆の書  
「信は萬事の本と為す」

# 山梨中央銀行の概要

## 会社概要 (2025年9月末現在)

本店所在地 甲府市丸の内1丁目20番8号

資本金 154億円

従業員数 1,693人

指定金融機関受託状況 山梨県、県内27市町村中23市町村



## 経営理念

### 「地域密着と健全経営」

当行は、地域に根ざし、地域社会の繁栄と経済発展に寄与するとともに、お客さまから信頼していただける健全な経営姿勢を堅持し、経営内容の充実に努めてまいります。

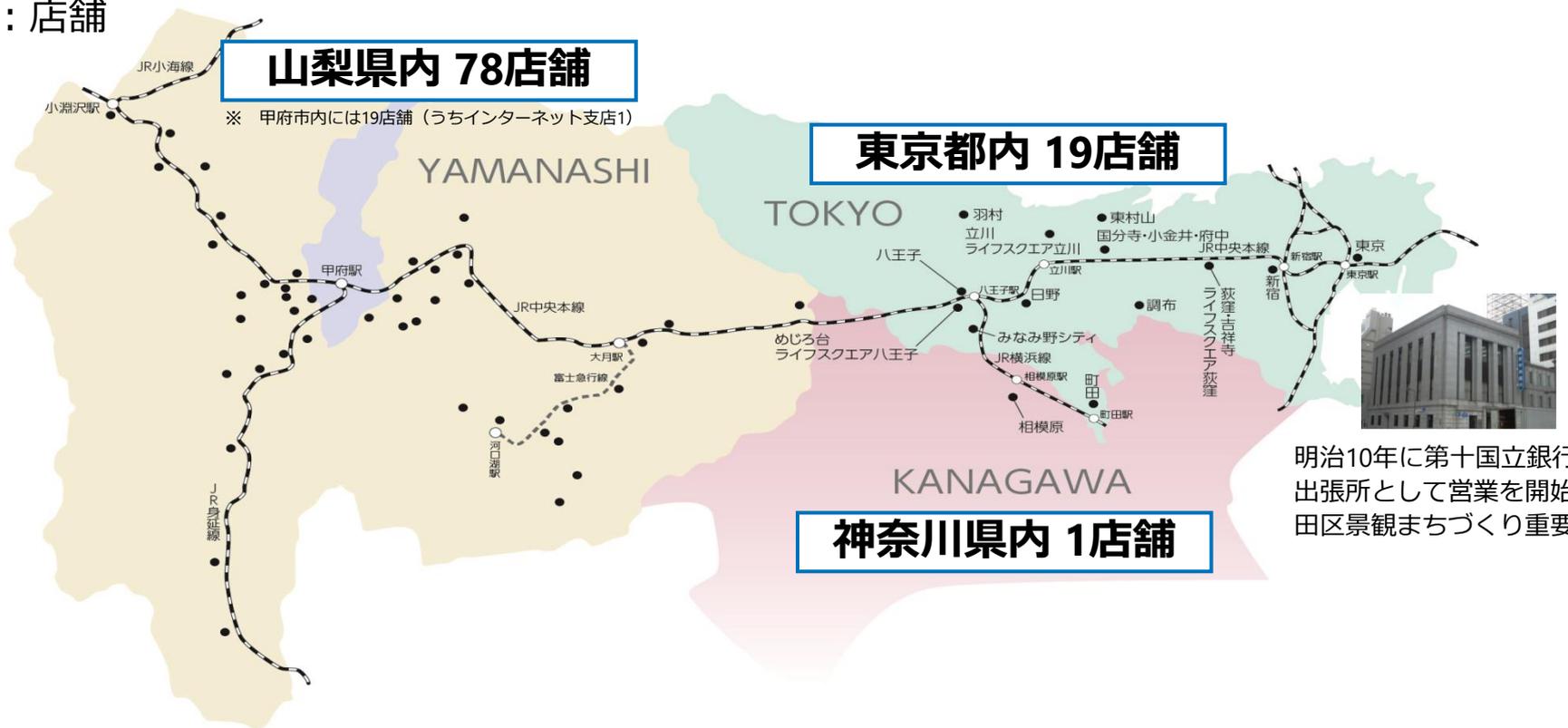
## 山梨中央銀行グループのパーパス

### 「山梨から豊かな未来をきりひろく」

# 山梨中央銀行の店舗網

- 明治10年に東京へ進出し、中央線沿線に店舗ネットワークを展開
- 県内にきめ細かな店舗網を展開

● : 店舗



# 山梨中央銀行のポテンシャル

- 人口・事業所数・経済規模が大きい東京と隣接する地理的魅力
- 東京都内での長い歴史からお客さまとの信頼関係を築き、多くの情報を結びつけることで、山梨への投資を加速

## 経済規模

## 山梨県

## 東京都

人口

78万人



事業所数

4.0万事業所



県内総生産

3兆7千億円



人口

1,426万人



事業所数

62.8万事業所



都内総生産

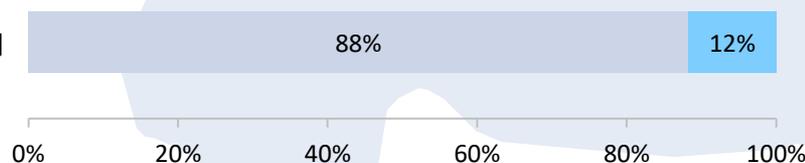
120兆8千億円



## 預金割合

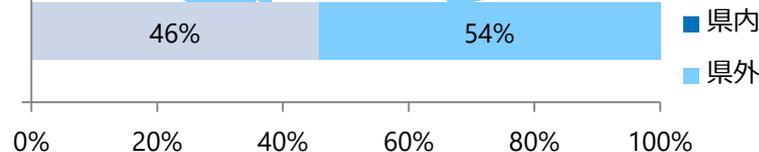
■ 県内 □ 県外

2025年3月



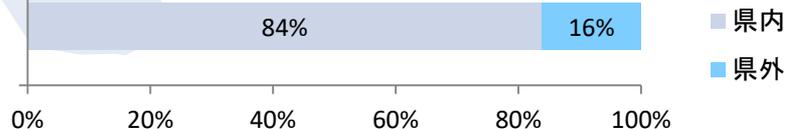
## 貸出金割合

2025年3月



## 人員構成

2025年12月



# 山梨県の特徴



標高全国ベスト3が山梨県内に

第1位 富士山  
3,776m



第2位 北岳  
3,193m



第3位 間ノ岳  
3,190m



日本を代表する山岳県であり、県土の78%を森林が占めるなど、豊かな自然に恵まれており、良質なミネラルウォーターを生み出している

ミネラルウォーター生産量

令和5年度

第1位 1,735千kl



日照時間

令和5年度

第3位 2,484.1時間（年間）



日照時間が長く降水量が少ない、また、朝夕および夏冬の気温差が著しい盆地特有の気候であり、こうした気象条件が果樹王国やまなしを育てている

もも生産量

令和5年度 第1位 33,400t



ブドウ生産量

令和5年度 第1位 41,700t



日照時間が長くブドウが育ちやすい環境が整っており、古くからワイン造りが盛んで、多くのワイナリーが集まっている

日本ワイン生産量  
令和4年度 第1位 4,278kl



© GRACE WINE

写真は中央葡萄酒様からご提供

代表的な宝飾産業は約1,100年の歴史を持ち、高度な技術で美術品の域に高められている水晶貴石細工などが有名

## 貴金属・宝石製装身具（ジュエリー）

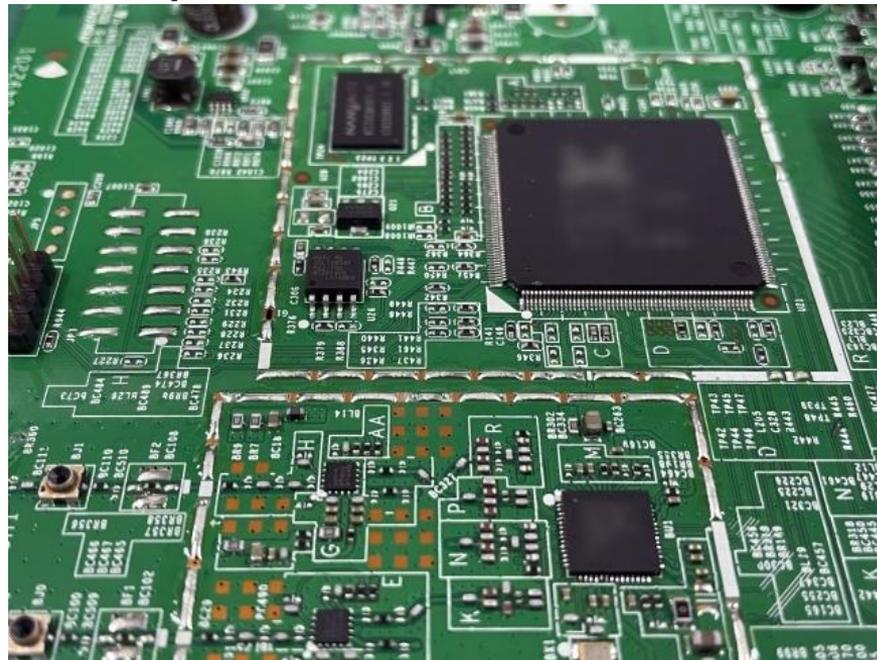
### 製品製造業出荷額

令和4年度 第1位 348億円



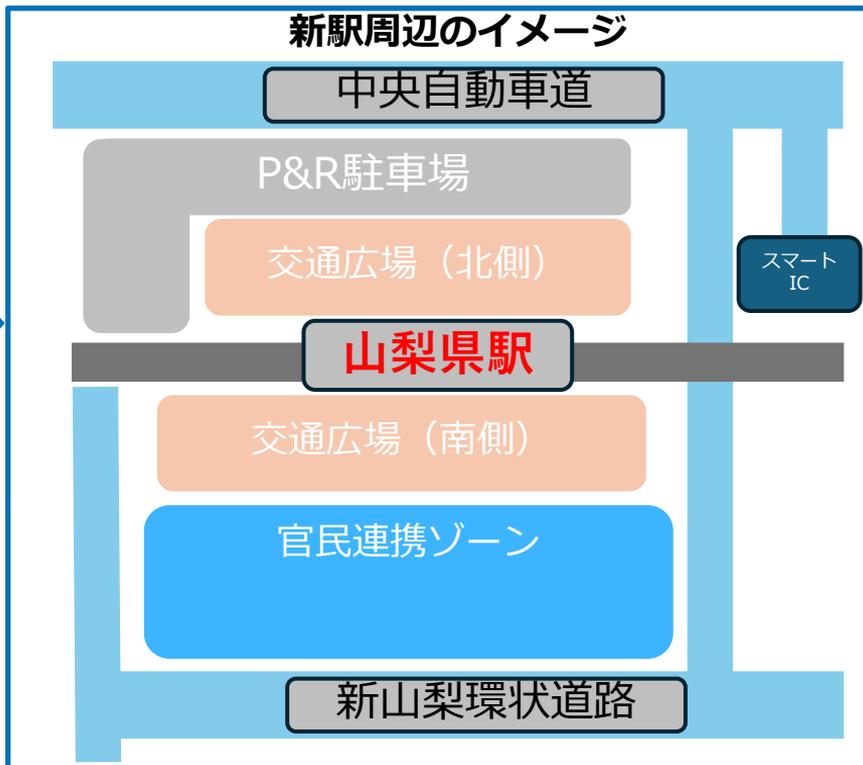
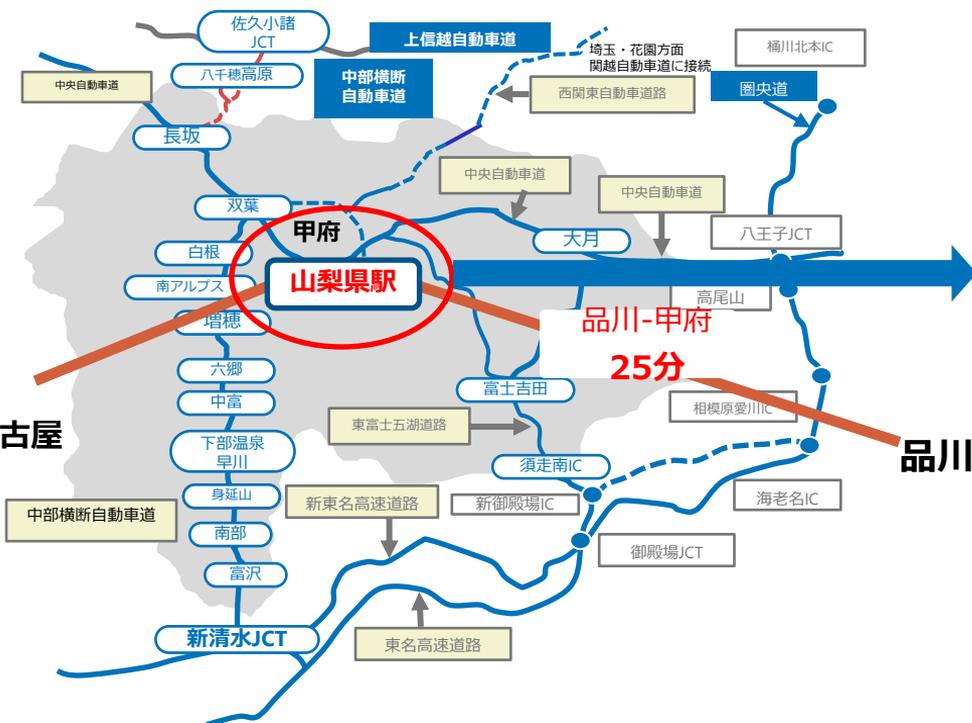
機械・電子産業の事業者が集積し、産業用ロボットや半導体の製造を支える高度な技術を保有している

ロボット製造業出荷額  
令和4年度 第1位 5,108億円



# 今後のプロジェクト ①

- リニア開通による地域経済活性化が期待される
- 行内にリニアPTを立ち上げ、地方公共団体や関連団体と連携し、リニア新駅周辺地域開発を支援



## 今後のプロジェクト ②

- 「富士トラム」構想では、富士山とリニア駅を接続し、県内各地への延伸を検討
- 県内各地で、リゾートホテルの進出計画が進行
- 環境への配慮として、水素を活用した事業を展開

## 交通・インフラ整備

## ● 「富士トラム」構想

富士山麓から富士山5合目を結ぶ交通手段として、山梨県が考えている交通手段



山梨県ホームページから引用

## 新たな開発

## ● リゾートホテル開発

富士山麓、八ヶ岳南麓、峡東地域等にて、リゾートホテルの進出計画が進行



## 環境への配慮

## ● グリーン水素の製造・実証

再生可能エネルギーを使用して生成されるグリーン水素の実用化に向けた取り組み



山梨県提供

# 長期ビジョンと中期経営計画



## Value Creation Company 2034

Value Creation **Bank** から Value Creation **Company** へ

山梨中央銀行グループは、地域の未来を描き、様々なネットワークを通じて地域ブランドや地域の魅力を発信し、地域に人が集まる、新たな仕組み・価値を創造する地域総合金融グループに進化します

### 各ステークホルダーへの提供価値

#### 地域社会

地域の抱える諸問題を解決し、地域社会のサステナブルな発展に貢献する

#### 個人のお客さま

必要なタイミングで最適な金融・非金融サービスを提供し、心豊かでゆとりある生活の支援、幸福度の向上に貢献する

#### 法人のお客さま

企業との課題共有、解決策の検討、実行支援による持続的な成長に貢献する

#### 職員

多様な働き方や成長機会の提供等を通じて、チャレンジ精神の醸成・やりがい・働きがいの向上に繋げる

#### 株主・投資家

企業価値の向上により、株主や投資家の期待に応えるとともに、適時適切な情報開示と積極的な対話に努める

#### 未来世代

地域の新たな価値創造や気候変動対策に積極的に取り組み、未来世代が安心・安全に過ごせる環境を引き継ぐ

# 中期経営計画の位置づけ

## ありたい姿からのバックキャストで中期経営計画を策定

- ▶ 長期ビジョンにおけるありたい姿の実現に向け、中期経営計画では、ROE 5%以上、連結当期純利益100億円を目指す

バックキャスト

長期ビジョン  
Value Creation Company 2034

2034年3月

ありたい姿

ROE : 8%以上

連結当期純利益 : 200億円以上

2031年3月

2028年3月

ROE : 5%以上 連結当期純利益 : 100億円以上

2025年4月中期経営計画

# 中期経営計画の概要（体系図）

創業150周年と「Value Creation Bank」の完遂を経て、次のステージへ

## Value Creation Company ~ 1st Stage

### 成長戦略 (Growth)

- 山梨強靱化戦略
- シン・東京戦略
- 全社戦略

### 基盤戦略 (Fundamental)

- チャネル戦略
- 生産性向上戦略
- ガバナンス戦略

### 人財戦略 (Human resource)

- 人的資本戦略
- エンゲージメント向上戦略

変革ドライバー



\*コーポレート・トランスフォーメーション

パーパス(存在意義) ≫ 「山梨から豊かな未来をきりひらく」

# 企業価値向上に向けた取組み



## 当行グループのビジネスモデル

山梨と東京、さらには海外のネットワークを活用した成長ビジョン

# 「山梨から豊かな未来をきりひらく」

経営支援

地域活性化

一体の営業領域と再定義  
東京の“力”を活用し地方創生

ネットワーク拡大

高RORA追求

コネク

山梨

東京

移住促進による人口増

海外への販路拡大

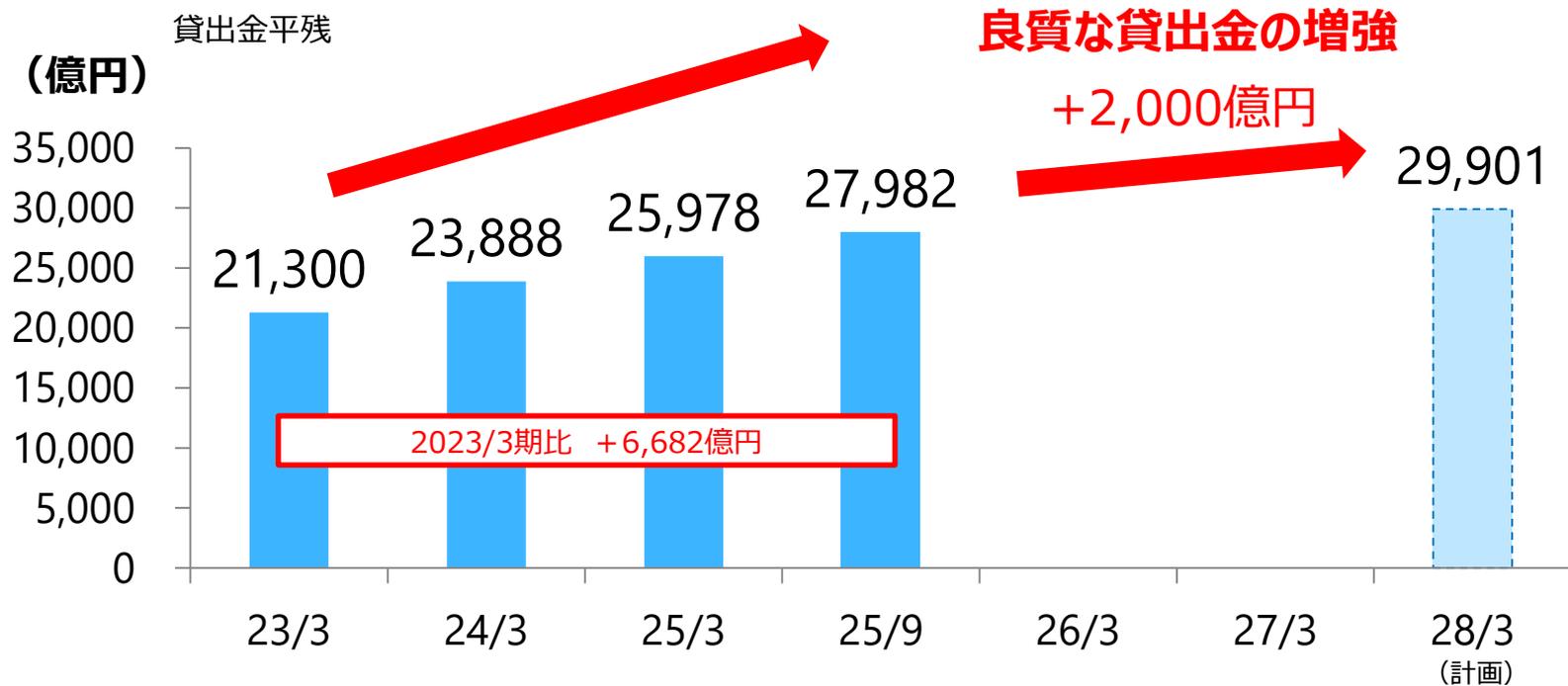
資本・人財を呼び込む

山梨の良いものを東京へ、全国・世界へ

東京の最先端の情報を地域活性化に活用



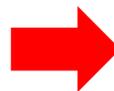
- 貸出金収益増強によるトップライン向上は成長ドライバー
- RORAを意識した良質な貸出金増強による貸出金ポートフォリオの再構築



- 預金利息を上回る貸出金利息および有価証券利息配当金の増加が見込まれるため、金利上昇はトップラインにプラスに影響
- 貸出金は変動割合が51.7%と金利感応度は高い

資金利益増加額

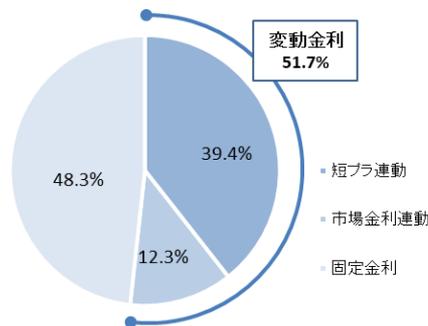
2026年度 2027年度  
**7.1億円** **34.3億円**



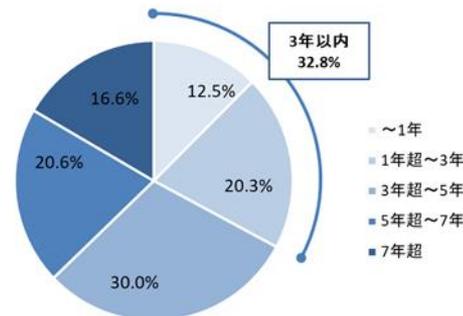
2年間累計増加額  
**約41.4億円**

前提：政策金利が75bp（2026年6月、2026年12月、2027年6月に各25bp）上昇した場合の利息の増加額。残高は2026年度以降の計画値を使用。資金利益は、貸出金利息、預金利息、日銀当座預金利息（日銀借入金控除後）および有価証券利息配当金について試算。

基準金利別構成割合



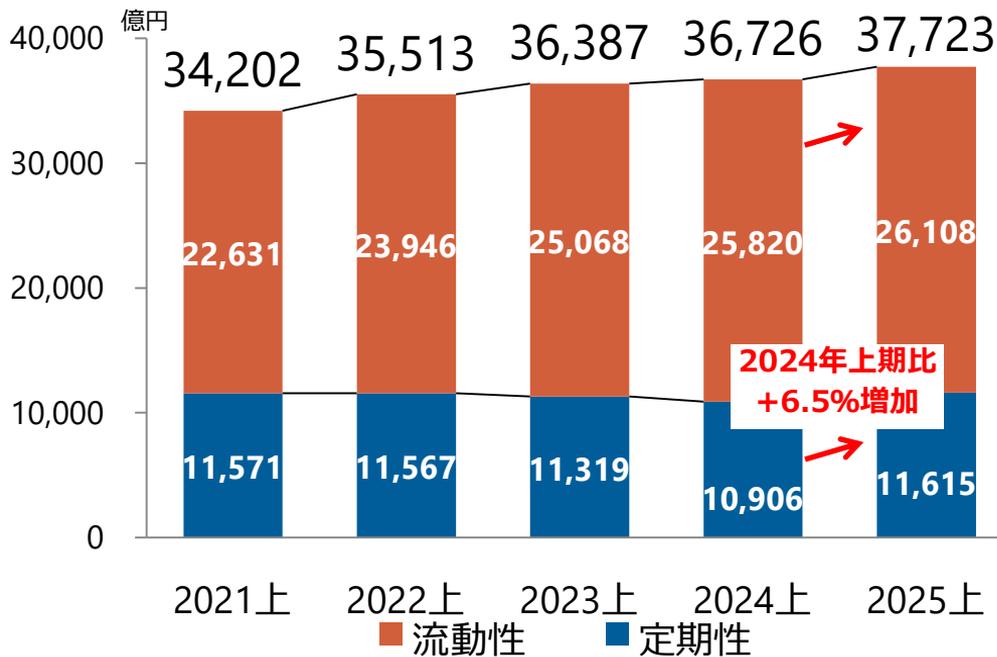
固定金利内訳



# 預金獲得への取組み

- 粘着性の高い預金獲得に向けた商品ラインナップの拡充
- マルチコーラブル定期、アプリ限定定期預金「ぷりてい」を導入

<預金平残の推移 流動性・定期性> 2024年上期比 +2.7%増加



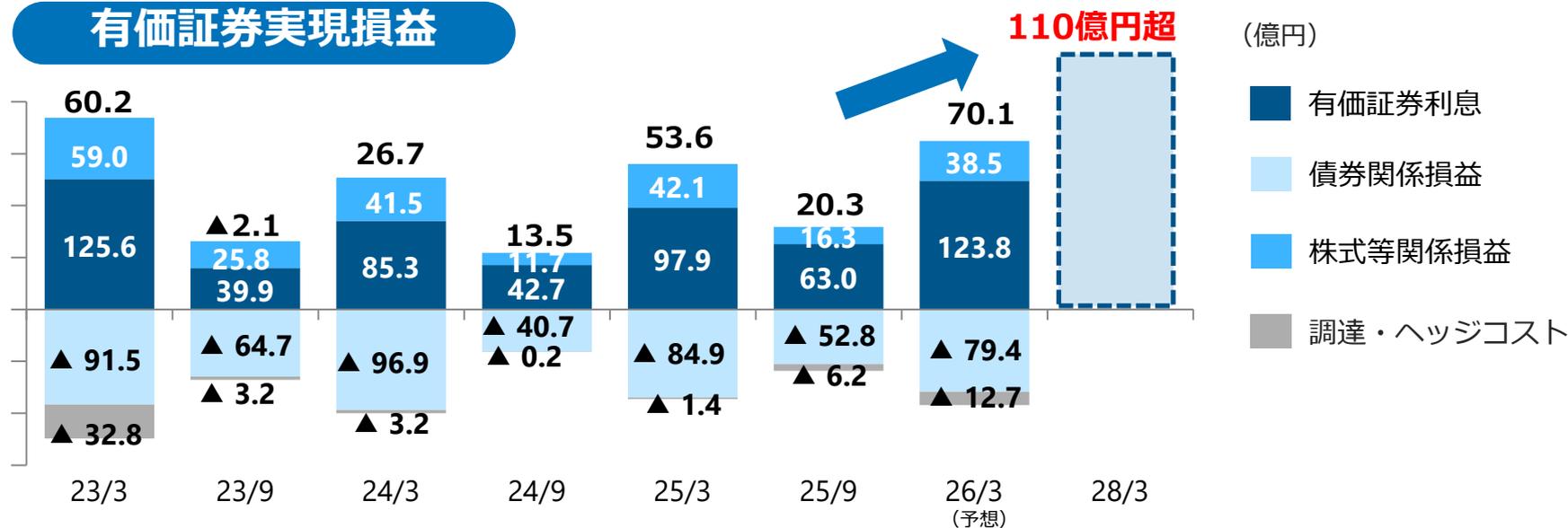
<2025上 新規導入・改定商品>

| 区分   | 対応時期    | 商品              |
|------|---------|-----------------|
| 新規導入 | 2025年3月 | マルチコーラブル定期      |
| 新規導入 | 2025年6月 | アプリ限定定期預金「ぷりてい」 |
| 改定   | 2025年4月 | 山梨中銀年金定期「輝き」    |
| 取扱再開 | 2025年7月 | 教育資金積立定期預金「夢限大」 |

# 市場運用の強化

- 有価証券実現損益110億円超の達成に向けて、ポートフォリオ運営を高度化
- やまなし未来インベストメント株式会社の投資助言を活用し、市場局面に応じてアロケーションをコントロールすることで、有価証券の評価損益や債券・株式関係損益を改善

## 有価証券実現損益



\* 上記の株式等関係損益には、投資事業組合出資の損益、金銭信託損益を含む

# 企業強靱化支援、コンサルティング支援強化 ①

- お客さまの企業価値向上を支援し、強い中堅・中小企業を増やす
- 当行とともに中長期の成長ビジョンを共有し、各種取組みを実践する先を「強靱化支援先」として選定

## ①強靱化支援先のリストアップ

## ②「Value Creation Sheet」の策定



## 成長ビジョンを共有

02 業況推移 (PL/BS/CFなど)

03 将来ビジョン

07 将来ビジョン実現プラン案

Value Creation Sheet

【強靱化の約束】(ゴールイメージ)  
① AI活用で生産性を向上させる  
② 設備はあくまで日本国内  
③ 日本国内、日本の優待に優遇的  
④ 子会社の海外評価を高める

【中長期目標】  
① 国内市場のみで、得意の製造業をフル活用  
② 顧客ニーズに寄り添う多岐にわたる事業展開  
③ 製造業への製造供給の強化  
④ 設備投資の削減による多岐展開  
⑤ AI活用による生産性向上  
⑥ 新規事業・新規市場への参入

【報告書】  
① 企業価値向上を推進し、消費高成長を  
実現する  
② 製造業への製造供給 (モノ化対応・物流化)  
が図られている  
③ 国内市場の成長を加速し、海外に展開

最終目標 年間20億円 CF1000万円  
従業員数 100名以上

年間目標 売上17億円 CF700万円

## 企業強靱化支援、コンサルティング支援強化 ②

- 強靱化支援先の多様な経営課題に対して、専門的な成長支援を通じてお客さまの企業価値向上を図る
- 2025年度上半期のコンサルティング支援は、目標70件を超過し76件を支援

### ③ 実行支援

#### 企業強靱化支援メニューの提供

経営戦略

資金調達

人材・  
組織開発

リスクマネジメン  
ト資産活用

販路拡大  
マーケティング

事業承継  
M&A

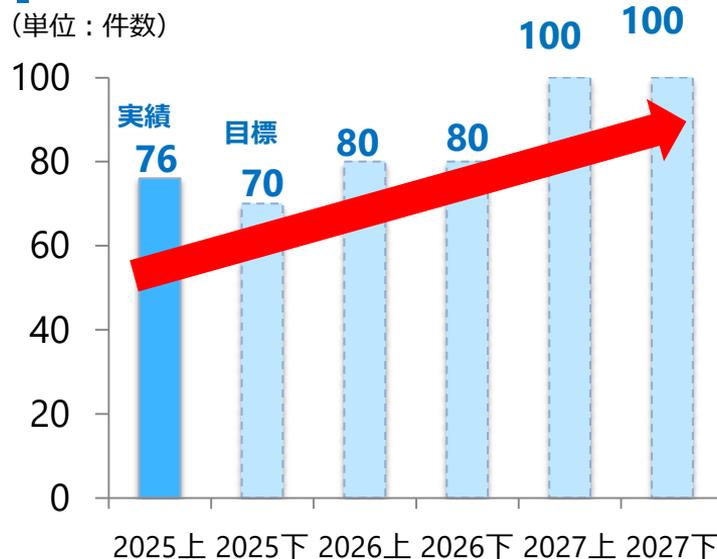
DX  
効率化

サステナビリ  
ティ

海外ビジネス

#### コンサルティング支援件数（契約）

（単位：件数）



- ・ 3年間で累計500件のコンサルティング支援を目標
- ・ 2025年度上半期76件のうち、ICTコンサル（19件）がコンサルティング支援件数全体を牽引

# 個人生涯取引の充実

- 個人のお客さまのライフプラン実現に向けて、将来のさまざまな不安に寄り添って継続的にサポートする新サービス「LIFE PLAN with」を開始
- 本サービスをお客さまに発信する拠点として、フラッグシップ店（旗艦店）「with station」を出店

一緒につくる、お金の安心、あなたの未来。

LIFE PLAN with



## 「with」ブランドの立ち上げ

with マインド

家族のように寄り添ってお話を聞き、**金融のプロ**として客観的な視点で考え、ともに夢をかなえるパートナーとして親身に**ライフプランを立てるお手伝い**と**実現に向けたアドバイス**を提供します。ご相談いただいた「一時」だけでなく、お客さまのプランが叶うよう、**いつでもともに考え、アドバイス**していきます。



(キャッシュフローの推移試算)

|           |      | 今年  | 1年  | 2年  | 3年  | 4年  |
|-----------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 経過年数      |      |     |     |     |     |     |
| 世帯主       |      | 30歳 | 31歳 | 32歳 | 33歳 | 34歳 |
| 配偶者       |      | 27歳 | 28歳 | 29歳 | 30歳 | 31歳 |
| 子ども1      |      | 3歳  | 4歳  | 5歳  | 6歳  | 7歳  |
| 子ども2      |      | 1歳  | 2歳  | 3歳  | 4歳  | 5歳  |
| ライフイベント   |      |     | 1子幼 |     | 2子幼 | 1子小 |
| 収入        |      |     |     |     |     |     |
| 手取収入(世帯主) | 0.8% | 500 | 504 | 508 | 512 | 516 |
| 手取収入(配偶者) | 0.8% | 300 | 302 | 305 | 307 | 310 |
| 退職金       | —    |     |     |     |     |     |
| 老齢年金(世帯主) | —    |     |     |     |     |     |
| 老齢年金(配偶者) | —    |     |     |     |     |     |
| 積立金       | —    |     |     |     |     |     |
| 贈与        | —    |     |     |     |     |     |
| その他収入     | —    |     |     |     |     |     |
| 合計        | —    | 800 | 806 | 813 | 819 | 826 |
| 生活費       | 1%   | 360 | 364 | 367 | 371 | 375 |



(with station...旗艦店)

## 山梨・東京間の情報活用の最大化

- 「山梨・東京コネクト」の情報力でお客さまや地域課題を解決
- 営業店ではお客さまのニーズ把握に努め、本部の情報統括者が全営業店を訪問し、能動的に情報収集

### 山梨・東京共通項目

山梨・東京間の情報連携による山梨への投資額 **300**億円（累計）



2025年度上半期目標 **50**億円 に対し 実績 **86**億円（達成率173%）

地域インパクトウェルス等※との取引・連携件数 **500**件（累計）

※地域インパクトウェルス等...地域社会などに大きな影響を及ぼすことのできる富裕層や企業



2025年度上半期目標 **75**件 に対し 実績 **146**件（達成率194%）

## ウェルスビジネスの強化

- 新たな付加価値を提供し、山梨への投資を呼び込み
- ウェルス層コミュニティの活用による山梨との双方向のビジネスモデルを目指す

### 主な連携事例

- ・ 地元ホテルと都内企業をつなげ、新たなビジネスモデル構築による地域企業の価値向上に貢献



- ・ 県内スポーツイベントにスポンサーを誘致



## ウェルス層向け住宅ローン

地域インパクトウェルス等（※）の幅広いニーズにお応えするため、最大5億円までご利用いただける住宅ローンの取扱いを2025年4月17日に開始。  
※地域社会などに大きな影響を及ぼすことのできる富裕層

### 《商品の概要》

| 項目    | 内容               |
|-------|------------------|
| ご融資金額 | 最大 <b>5億円</b>    |
| ご融資期間 | 最長 <b>40年</b>    |
| お使いみち | 自己居住用マンションの取得資金等 |

### 《取扱開始～2025年10月末までの実績》

受付件数：15件 実行額：**1,629百万円**

## 明確な戦略ドメインに基づく東京都内の中堅・中小企業への取組強化

- 不動産業、製造業、医療を中心に、より明確化した取組対象先への推進を強化
- 各社が抱える課題を共有し、財務・非財務両面における解決策の提案・支援を実施しながら包括的に取引を拡大することで、預金・貸出金ともに順調に推移



- 既存取引先ネットワークの最大化（紹介等）による取引拡大

- **不動産市況評議会**を活用  
 カテゴリーごとに対応方針策定  
 （2025.8月開催）

- 山梨県内に工場（営業所）があり、都内に本社を有する対象先への推進

- **製造業関連団体との情報連携**

- **都内医療推進PTを組成**

- アライアンス都内医療担当者による情報交換会実施
- **医療法人承継モデルの展開**

# IT関連、ベンチャー・スタートアップ企業への対応強化

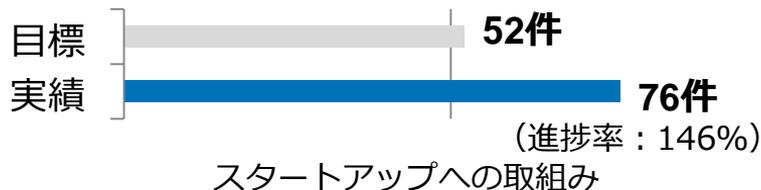
- 地域経済の未来を担う企業を支援するため、スタートアップ統括室を設置し、エクイティ投資、ベンチャーデット等への出資や融資を対応
- スタートアップイベント等に参加し、新たな企業の発掘に取り組む

## 社会的インパクト指標 (KPI)

ベンチャー・スタートアップへの関連支援件数

**500件/3年累計**

2025年上半期スタートアップ関連支援件数



山梨県との連携による支援



スタートアップ投資TVへ出演

## 投融资先

VCファンドへのLP出資: 4件

(LP出資先の投資先28件)

ベンチャーデット・創業融資: 2件

## ビジネスマッチング

**支援件数合計 76件**

(出資先の投資先28件+創業融資2件+ビジネスマッチング46件)

## Appendix

イベント登壇件数 5件

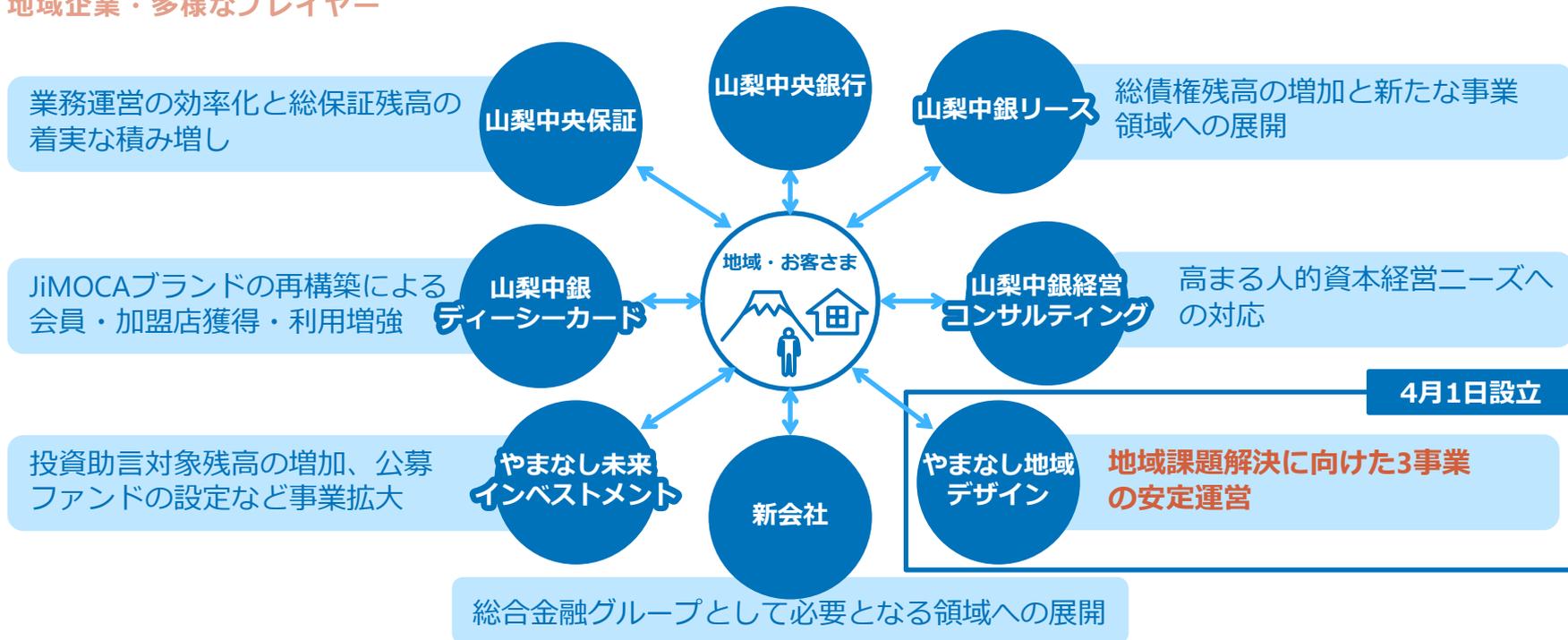
(甲府市のイベント、VCイベント登壇等)

# 山梨中央銀行におけるグループ会社

## 多様なプレイヤーとの連携により、グループシナジーを最大化

地域企業・多様なプレイヤー

地域課題解決・事業開発



グループ会社当期純利益合計

10億円 (2024年度比+44%増)

地域課題解決に向けた事業開発・協議件数

30件 (累計)

# グループ会社の強化と新たな収益源の確保に向けた事業開発 ①

## 地域課題解決に向けた地域総合商社「やまなし地域デザイン株式会社」による新たな事業領域の拡大

観光価値創造業

脱炭素関連事業

広告・マーケティング事業

### 小学生から社会人まで幅広く楽しめる**金融教育ゲーム**を実施

#### 取組内容

- オリジナルボードゲームを通じた資産形成に対する意識の醸成と、自身の幸せのための賢いお金の使い方の学習
- イベントや企業研修の一環として実施



### 将来的な事業化を見据え、銀行本体で**エンディング動画事業**の実証実験を開始

#### サービス内容

- 生前の家族への「想い」の整理をサポートし、死後に残したい「想い」を動画にするサービス

カウンセリング



撮影・編集



ご家族へお渡し



山梨中央銀行

地方創生推進部 山梨未来創生室

やまなし地域デザイン株式会社

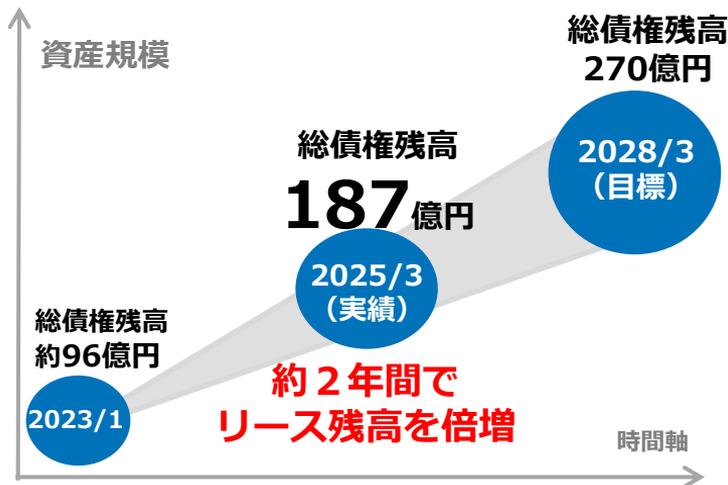
銀行本体で実証実験を行った後、新たに事業化

## グループ会社の強化と新たな収益源の確保に向けた事業開発 ②

- 山梨中銀リース株式会社の業況拡大と今後の展開
- 2年間でリース残高を倍増し、大口案件およびサプライヤー向け営業を強化するとともに、東京での拠点を拡大し、超富裕層向けリースを推進

### 総債権残高の推移

- 地方公共団体との取引推進強化
- 行内人財育成による組織力の高度化



### 山梨中銀リースの“東京戦略”

- 東京地区への**人的資源投下**
- 新たな事業領域への挑戦（不動産リース等）



連携

#### 山梨中央銀行

東京都内エリア  
営業店・東京戦略本部

都内営業店および**ウェルナビ**  
**ジネス部**等との連携を強化

# 富士山・アルプス アライアンス ①



- 静岡銀行・八十二銀行（現八十二長野銀行）と地域課題解決に取り組み、企業価値向上と社会価値創造を両立
- アライアンスによるシナジー効果のK P I = 200億円（3行合計・5年累計）で、2025年9月末時点のシナジー効果は3行合計で64億円

実績

64億円※1  
(達成率33%)

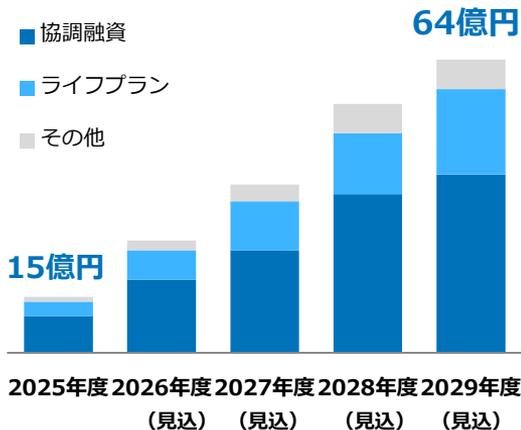
ストアイ  
(協調融資額)  
523億円※2

シローン等  
(協調融資額)  
79億円※2

静銀TM証券山梨本店  
(預り資産)  
416億円

※1 5年累計換算額 ※2 提携開始以来の共同案件にかかる累計実行額（3行合計）（2025年9月末時点）

企業価値向上



## 【主要なシナジー効果実現領域】





- 各県共通の地域課題解決への取組みを通じて、3県合計人口の増加を目指す
- 2025年7月から取扱いを開始した「移住応援ローン」は3行合計75件/27億円

実績

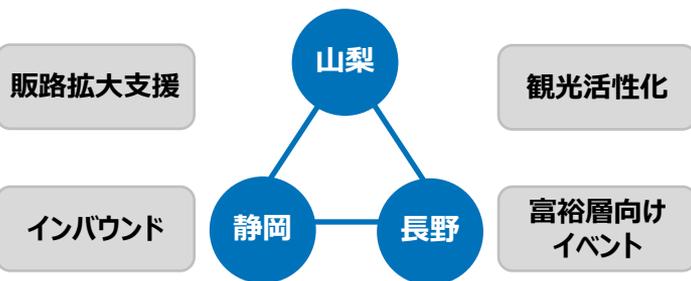
個別商談会  
開催 成約件数  
**3回 / 15件**

移住応援ローン  
件数 実行金額  
**75件 / 27億円**

※実績はすべて3行合計

地域活性化への取組み

3行が有する機能・ネットワークの最大限活用



移住促進への取組み

首都圏在住者に3県の移住関連情報と支援メニューを提供することで「富士山・アルプスブランド」を醸成、移住促進の好循環を創出

情報発信 ▶ 移住ポータルサイトでの情報発信

相談受付 ▶ アライアンス移住フェア開催

マッチング支援 ▶ 移住支援事業者、自治体との連携

富士山・アルプスブランドの構築

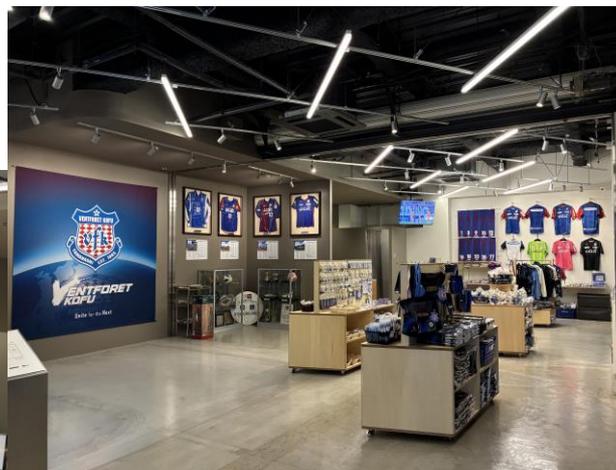
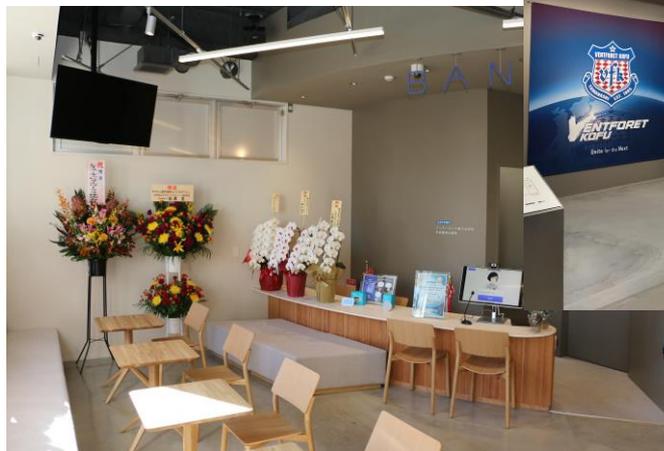
3県への移住者・移住関心者数の増加

## リアルチャネルの強化

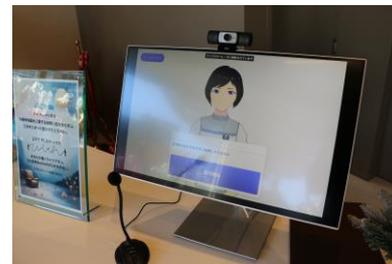
- 「金融×スポーツ×デジタル」が融合する未来型店舗として、ヴァンフォーレ甲府やAWS、インテックとコラボした複合店舗「withKOFU」を2025年11月21日OPEN
- 完全キャッシュレス店舗、かつAIアバターによるお客さま対応を実施

### 「Vent STORE」 「Vent CAFE」

#### 銀行キャッシュレス店舗



### AIアバターによる受付



#### < 主な対応内容 >

ご質問対応

アプリ案内

サービス紹介

その他、会話  
コミュニケーション

お客さま満足度の  
向上

店舗内での  
顧客体験向上

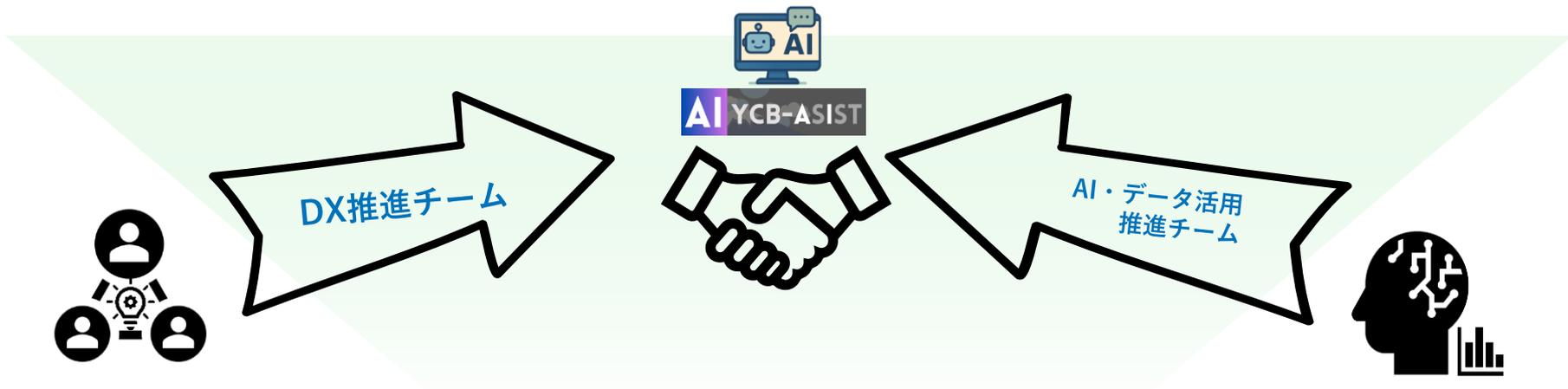
店舗運営  
の効率化

お客さまの声を  
収集・蓄積

## 営業店および本部業務の効率化

- 生産性向上に向けて、行内用生成AIチャットを機能強化した「YCB-AsIst」の利用を開始し、融資業務・法人営業等に活用
- システム統括部内に「AI・データ活用推進チーム」を設置

- AIエージェント・ワークフロー実行基盤の構築を開始
- 「DX・しごと改革推進室」の活動サポートと行内DXを促進するため、本部横断のDX推進チームを再構築
- DX推進人材育成、リテラシー向上施策の取組強化

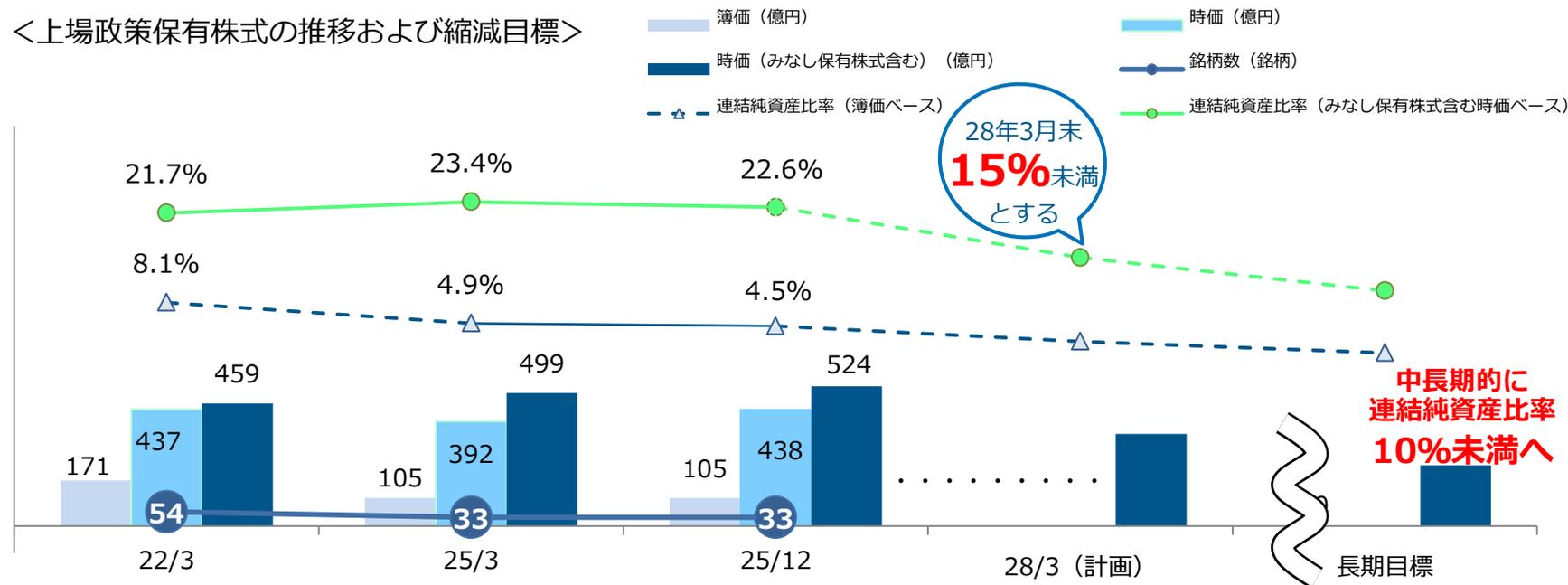


# 政策保有株式の縮減

- 2028年3月末までに連結純資産に占める上場政策保有株式（みなし保有株式含む時価ベース）の保有割合を15%未満に縮減
- 中長期的に同保有割合を10%未満に縮減

企業価値向上に向けた資本効率のさらなる向上および財務体質のなお一層の強化等を目的に、上場政策保有株式の縮減方針を改めて設定し、政策保有株式の縮減を一層進める

<上場政策保有株式の推移および縮減目標>



## 企業風土改革への取組み

- 従業員の能力発揮、モチベーション向上に向けて2023年からサーベイを実施
- 分析に基づいた改善策を対応したことで、ポイントは2年で3.7pt改善

### サーベイ実施

- 2023年10月 第1回サーベイ実施
- 2024年10月 第2回サーベイ実施
- 2025年10月 第3回サーベイ実施

### 改善策実施

- 目標設定・評価に係る研修を開催
- キャリア形成支援の制度等を充実

### 分析・課題特定

- 必要に応じ追加サーベイを実施
- 行内の課題を特定し、改善策検討



※ カッコ内は同じサーベイを利用している企業平均

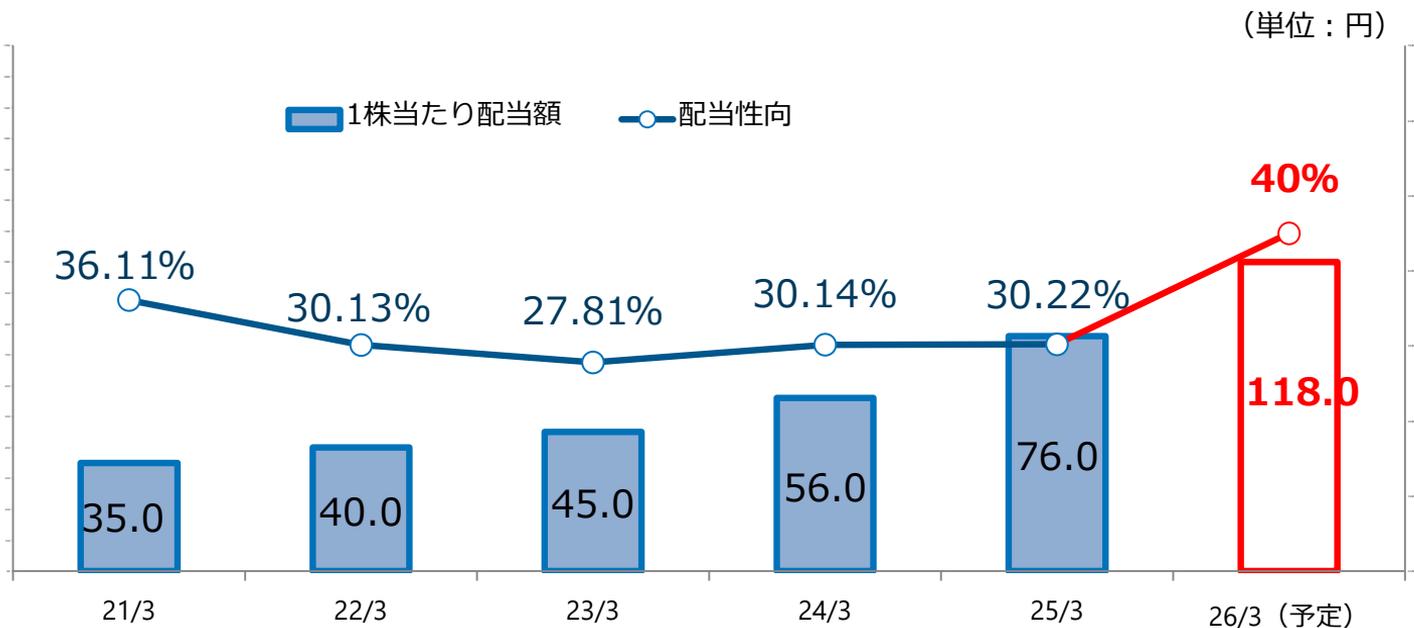
# 株主還元



## 株主還元方針

- 健全性維持と収益・成長投資のバランスを勘案しつつ、株主還元のさらなる充実を図るため、配当性向は40%を目安
- 中間配当、期末配当ともに当初予想から4円増配し、中間配当は1株当たり59円、期末配当は1株当たり59円、年間118円

【1株当たり配当額と配当性向】



## 株主優待制度の導入

- 株主優待制度では、山梨県の特産品・山梨県内宿泊クーポン等を優待品として全国の株主さまにお届けし、山梨県の魅力を発信するとともに、特別金利定期預金（金利上乘せ）等の優待を提供

### 基準日

2026年3月31日を初回基準日とし、以降、毎年3月31日を基準日（年1回）

### 対象となる株主さま

毎年3月31日現在の株主名簿に記録された「200株以上の株式を1年以上継続して保有する株主さま」<sup>（注1）</sup>を対象。ただし、2026年3月31日現在の株主名簿に記録された200株以上の株式を保有する株主は、初回に限り保有期間にかかわらず対象。

（注1）「継続して1年以上保有」とは、基準日を3月31日とし、9月30日および3月31日の株主名簿に、同一株主番号で連続して3回以上かつ200株以上の保有が記録されていることが条件

### 優待内容

| 保有株式数           | 優待内容             |
|-----------------|------------------|
| 1,000株以上        | 6,000円相当のカタログギフト |
| 500株以上 1,000株未満 | 2,500円相当のカタログギフト |
| 200株以上 500株未満   | クオカード 1,000円     |



カタログギフトには「① 山梨県の特産品」「② 特別金利定期預金（金利上乘せ）」「③ 山梨県内宿泊クーポン」「④ 社会貢献活動への寄付」を掲載予定

株主の皆さまには、①～④のいずれかひとつを選択

# 業績概要（第3四半期）

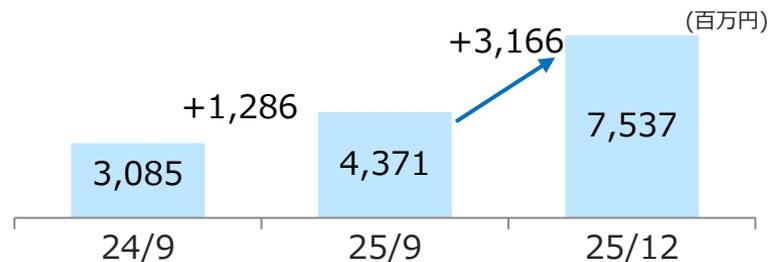


# 2026年3月期 第3四半期損益概況

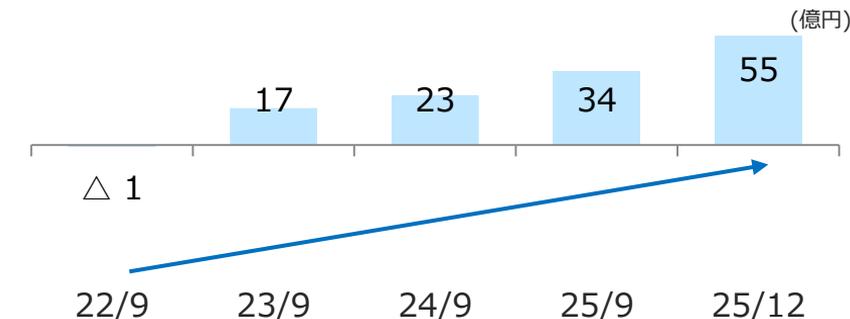
顧客向けサービス業務利益の伸長により、主要な損益項目は前年比でプラス

| 単 体             | (億円) | 24/12期 | 25/12期 | 前年同期比 |
|-----------------|------|--------|--------|-------|
|                 |      |        |        |       |
| 業務粗利益           |      | 231    | 259    | 28    |
| 資金利益            |      | 247    | 298    | 51    |
| 役務取引等利益         |      | 55     | 47     | △ 7   |
| その他業務利益         |      | △ 72   | △ 87   | △ 15  |
| コア業務粗利益         |      | 296    | 333    | 37    |
| 国債等債券損益         |      | △ 65   | △ 74   | △ 9   |
| 経 費 (△)         |      | 193    | 204    | 11    |
| 一般貸倒引当金繰入額 (△)  |      | △ 1    | △ 1    | 0     |
| 業務純益            |      | 39     | 55     | 16    |
| コア業務純益          |      | 103    | 128    | 25    |
| 〃 (除く投信解約損益)    |      | 103    | 128    | 25    |
| 臨時損益            |      | 29     | 46     | 16    |
| うち不良債権処理額 (△)   |      | 11     | 2      | △ 9   |
| うち株式等関係損益       |      | 35     | 36     | 1     |
| 経常利益            |      | 68     | 101    | 32    |
| 特別損益            |      | △ 0    | 0      | 0     |
| 法人税等合計 (△)      |      | 19     | 25     | 6     |
| 当期純利益           |      | 49     | 76     | 26    |
| 与信関係費用 (△)      |      | 10     | 0      | △ 9   |
| 連 結             | (億円) | 24/12期 | 25/12期 | 前年同期比 |
| 連結経常利益          |      | 73     | 103    | 29    |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 |      | 51     | 75     | 23    |

## 親会社株主に帰属する当期純利益



## 顧客向けサービス業務利益 (※)



※ 顧客向けサービス業務利益

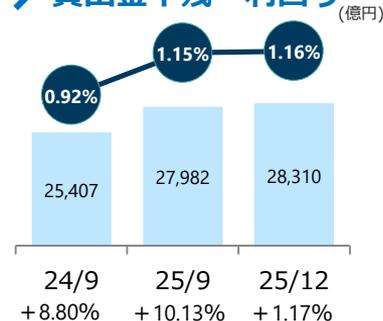
貸出金平残×預貸金利回り差+役務取引等利益-営業経費

# 資金利益

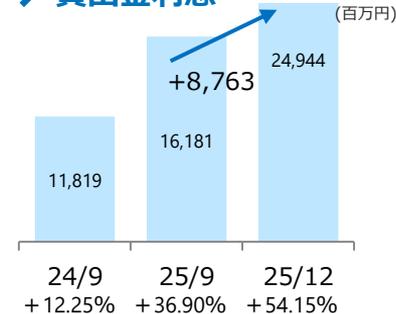
## 貸出金利息・有価証券利息ともに堅調に推移

|              | (億円) | 24/12期 | 25/12期 | 前年同期比 |
|--------------|------|--------|--------|-------|
| 資金利益         |      | 247    | 298    | 51    |
| 預貸金利息        |      | 169    | 191    | 22    |
| 貸出金利息        |      | 182    | 249    | 66    |
| 国内業務部門       |      | 172    | 239    | 67    |
| 国際業務部門       |      | 10     | 10     | △ 0   |
| 預金利息 (△)     |      | 13     | 57     | 44    |
| 国内業務部門       |      | 13     | 57     | 44    |
| 国際業務部門       |      | 0      | 0      | △ 0   |
| 有価証券利息       |      | 66     | 96     | 30    |
| " (除く投信解約損益) |      | 66     | 96     | 30    |
| 債券           |      | 19     | 41     | 21    |
| 国内業務部門       |      | 18     | 32     | 13    |
| 国際業務部門       |      | 0      | 8      | 8     |
| 株式           |      | 14     | 20     | 6     |
| 投信分配金        |      | 33     | 35     | 1     |
| 投信解約損益 (益超過) |      | -      | -      | -     |
| 市場運用・調達ほか    |      | 11     | 9      | △ 1   |
| 国内業務部門       |      | 236    | 279    | 43    |
| 国際業務部門       |      | 11     | 18     | 7     |

### 貸出金平残・利回り



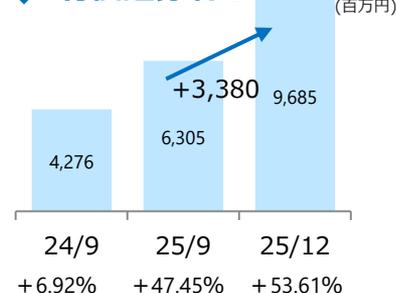
### 貸出金利息



### 有価証券平残・利回り



### 有価証券利息



# 預金・貸出金の状況

## 貸出金・預金ともに残高は増加基調を維持

| 平残             |        | 24/12期 | 25/12期 | 前年同期比（増減率） |            |
|----------------|--------|--------|--------|------------|------------|
|                |        | (億円)   |        |            |            |
| 貸出金            |        | 25,678 | 28,310 | +2,632     | ( +10.3% ) |
| 地域別            | 山梨県内   | 11,036 | 11,629 | +593       | ( +5.4% )  |
|                | 山梨県外   | 12,690 | 14,449 | +1,759     | ( +13.9% ) |
| 本部所管貸出金        |        | 1,951  | 2,231  | +280       | ( +14.4% ) |
| マーケット別         | 一般資金   | 17,911 | 19,723 | +1,812     | ( +10.1% ) |
|                | 非事業性個人 | 4,665  | 5,129  | +464       | ( +9.9% )  |
|                | 地公体    | 3,101  | 3,457  | +356       | ( +11.5% ) |
| 山梨県内貸出金シェア（末残） |        | 50.4%  | 51.6%  | +1.2       | -          |

※シェアは2025年9月基準

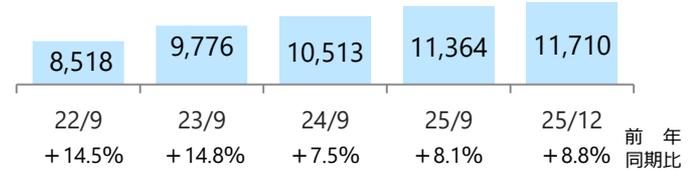
| 平残            |      | 24/12期 | 25/12期 | 前年同期比（増減率） |            |
|---------------|------|--------|--------|------------|------------|
|               |      | (億円)   |        |            |            |
| 預金            |      | 36,621 | 37,986 | +1,365     | ( +3.7% )  |
| 地域別           | 山梨県内 | 32,330 | 32,841 | +511       | ( +1.6% )  |
|               | 山梨県外 | 4,290  | 5,144  | +854       | ( +19.9% ) |
| 山梨県内預金シェア（末残） |      | 51.3%  | 52.1%  | +0.8       | -          |

(ゆうちょ銀行を除く)

※シェアは2025年9月基準

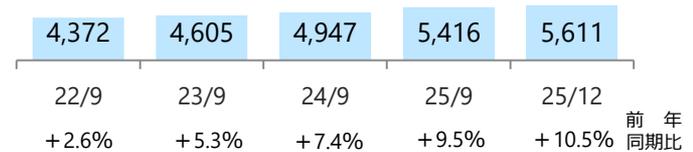
### 中小企業向け貸出(末残)

(億円)



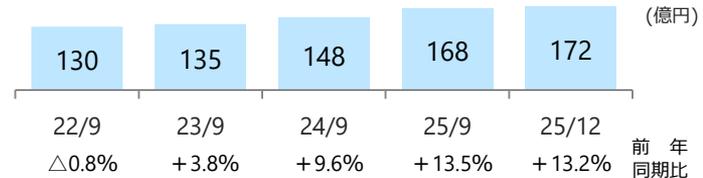
### 住宅ローン(末残)

(億円)



### 無担保ローン(末残)

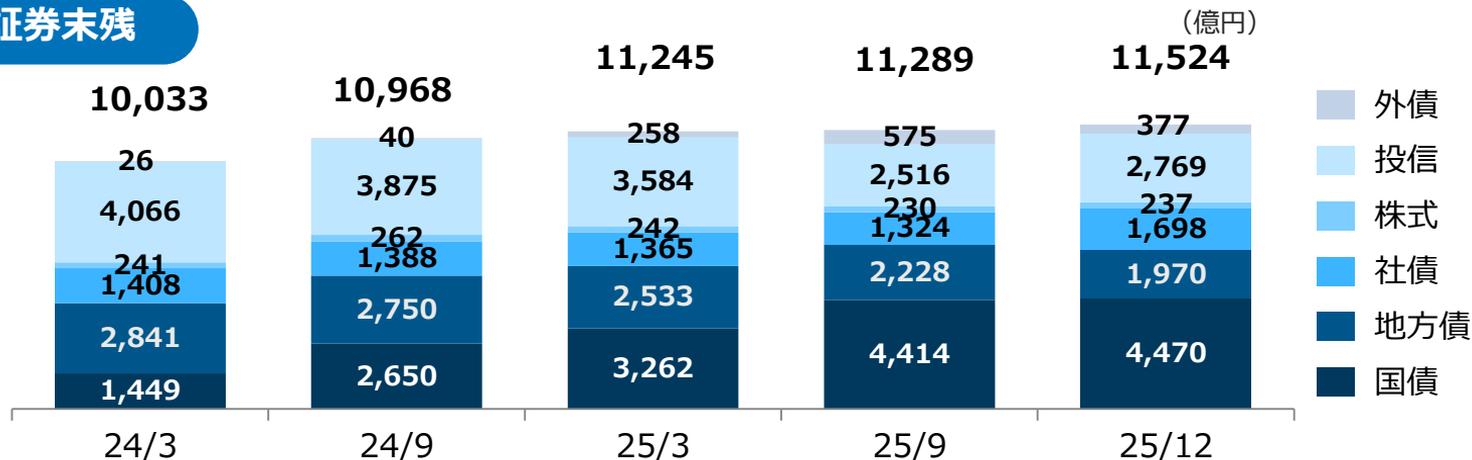
(億円)



# 有価証券の状況

安定収益の確保・拡大に向けて、デュレーションを抑制しながら国債を積み増し

## 有価証券未残



|                          | 24/3 | 24/9 | 25/3 | 25/9 | 25/12 |
|--------------------------|------|------|------|------|-------|
| <b>有価証券<br/>評価損益(億円)</b> | 156  | 89   | ▲46  | 146  | 96    |
| アセットス<br>ワップ考慮後          | 156  | 88   | ▲42  | 178  | 146   |
| <b>円債修正デュ<br/>レーション</b>  | 5.9  | 5.3  | 5.4  | 5.2  | 4.9   |
| アセットス<br>ワップ考慮後          | 5.9  | 5.2  | 4.9  | 4.3  | 3.9   |

# 2026年3月期損益予想

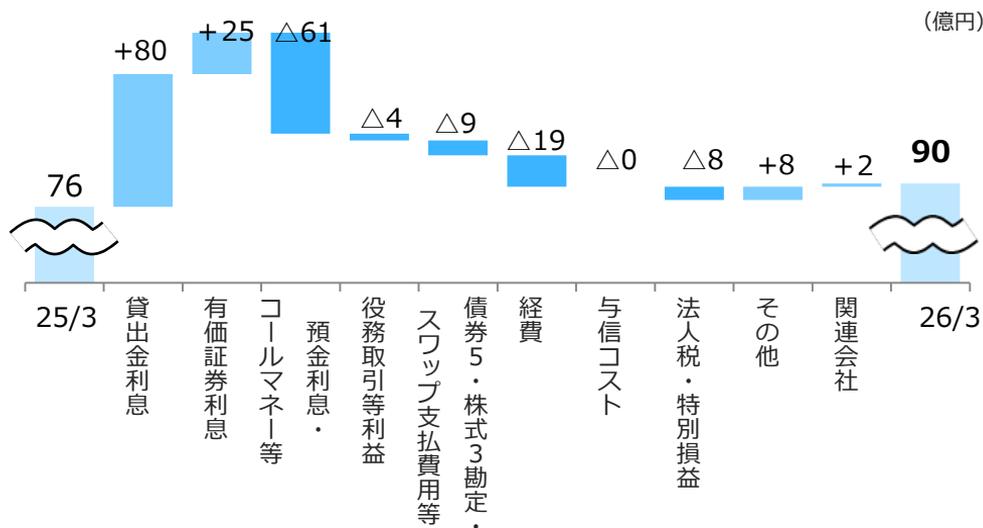
## 連結経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも前年を上回る計画

| 単 体               | (億円) | 25/3期 | 26/3期<br>(計画) | 前年同期比 |
|-------------------|------|-------|---------------|-------|
| 業務粗利益             |      | 319   | 365           | 46    |
| 資金利益              |      | 339   | 392           | 53    |
| うち貸出金利息           |      | 251   | 331           | 80    |
| うち有価証券利息          |      | 97    | 123           | 25    |
| 役員取引等利益           |      | 72    | 67            | △ 4   |
| その他業務利益           |      | △ 8   | △ 15          | △ 7   |
| コア業務粗利益           |      | 404   | 444           | 40    |
| 国債等債券関係損益         |      | △ 84  | △ 79          | 5     |
| 経 費 (△)           |      | 258   | 278           | 19    |
| 一般貸倒引当金繰入額 (△)    |      | 0     | 0             | △ 0   |
| 業務純益              |      | 59    | 86            | 26    |
| コア業務純益            |      | 145   | 166           | 20    |
| コア業務純益 (除く投信解約損益) |      | 145   | 166           | 20    |
| 臨時損益              |      | 38    | 36            | △ 1   |
| うち不良債権処理額 (△)     |      | 14    | 13            | △ 0   |
| うち株式等関係損益         |      | 47    | 40            | △ 7   |
| 経常利益              |      | 97    | 122           | 24    |
| 当期純利益             |      | 71    | 88            | 16    |

| 連 結             | (億円) | 25/3期 | 26/3期<br>(計画) | 前年同期比 |
|-----------------|------|-------|---------------|-------|
| 連結経常利益          |      | 106   | 129           | 22    |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 |      | 76    | 90            | 13    |

- その他業務利益の減少や経費の増加を見込む一方、資金利益の増加により当期純利益は前年を上回る計画

### 親会社株主に帰属する当期純利益の増減要因

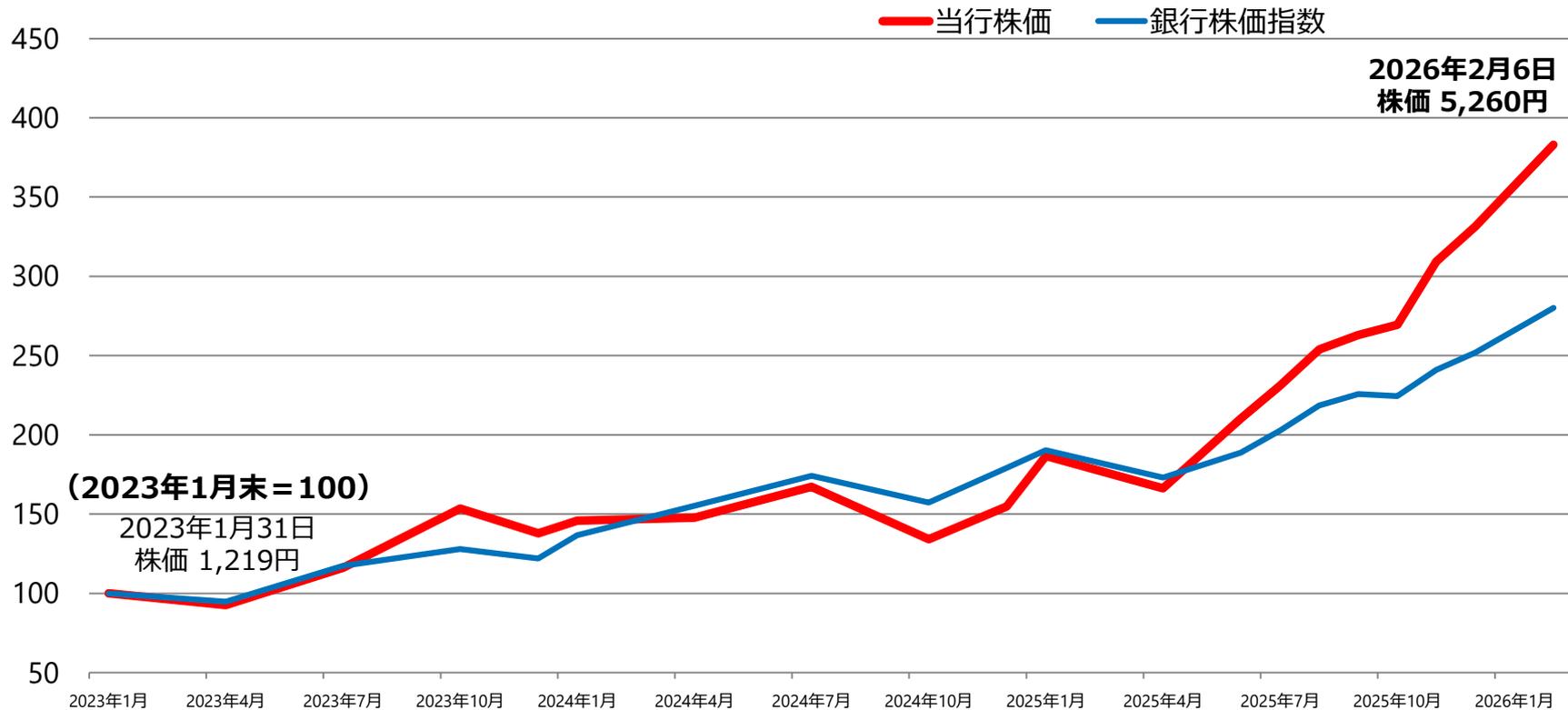


中期経営計画の実績は順調に推移

| 財務指標                | 2026年3月期予想 | 2027年度<br>KPI |
|---------------------|------------|---------------|
| 連結ROE               | 4.07%      | 5%以上          |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 90億円       | 100億円以上       |
| OHR                 | 62.65%     | 65%以下         |
| 連結自己資本比率            | 9.75%      | 9%台           |

# 株価と東証銀行業株価指数の推移

2023年1月から直近の株価は、約4倍



弊行の会社説明資料をご覧いただきまして、誠にありがとうございました。  
資料内容についてのご照会等は、下記までお願いいたします。

お問い合わせ窓口

---

株式会社 山梨中央銀行 経営企画部広報・サステナビリティ推進室

T E L 055 (233) 2111

E-mail kouho@yamanashibank.co.jp

U R L <https://www.yamanashibank.co.jp/>

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。